

木更津工業高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	応用数学C
<b>科目基礎情報</b>				
科目番号	0118	科目区分	専門 / 必修選択	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	機械工学科	対象学年	4	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 高遠ほか著『新応用数学』大日本図書、2014年、1800円(+税), 補助教材: 高遠ほか著『新応用数学問題集』大日本図書、2015年、840円(+税)			
担当教員	鈴木道治			
<b>到達目標</b>				
曲線や曲面、スカラー場やベクトル場を理解し、それらの基本的な計算をすることができる。 線積分、面積分および積分定理を理解し、それらの基本的な計算をすることができる。				
<b>ルーブリック</b>				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	曲線や曲面、スカラー場やベクトル場に関する応用的な問題を解くことができる。	曲線や曲面、スカラー場やベクトル場に関する基本的な問題を解くことができる。	曲線や曲面、スカラー場やベクトル場に関する基本的な問題を解くことができない。	
評価項目2	線積分、面積分および積分定理に関する応用的な問題を解くことができる。	線積分、面積分および積分定理に関する基本的な問題を解くことができる。	線積分、面積分および積分定理に関する基本的な問題を解くことができない。	
<b>学科の到達目標項目との関係</b>				
準学士課程 2(1) 専攻科課程 B-1 JABEE B-1				
<b>教育方法等</b>				
概要	前半は、曲線や曲面、スカラー場やベクトル場と言った基本的な概念および公式を学ぶ。後半は、線積分、面積分および積分定理と言った応用を学ぶ。			
授業の進め方・方法	授業は講義形式、演習が交差しながら進んでいく。 ただし板書による講義形式よりもアクティブラーニング型の授業を展開する予定です。しかし説明が分からなければ教員だけでなく、クラスメイトにも積極的に質問したり相談すること。また、適宜問題演習の時間をとる。なるべく自分の力で問題を解く習慣を身につけること。			
注意点	第3学年までに学んだ数学のほとんどすべての事柄を十分身につけておくことが必要である。そこで、第3学年までに使用した数学の教科書や参考書、ノートなどを身近において、いつでも復習できるように心掛けることが大切である。とくにベクトルと微積分についての基礎知識は必須条件であり、微分および積分の計算法について習熟しておくことが必要である。			
<b>授業の属性・履修上の区分</b>				
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
<b>授業計画</b>				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	空間のベクトル	
		2週	ベクトル関数	
		3週	曲線	
		4週	曲面	
		5週	スカラー場とベクトル場	
		6週	スカラー場とベクトル場	
		7週	発散と回転	
		8週	中間試験	
前期	2ndQ	9週	試験返却・解答、線積分	
		10週	線積分	
		11週	面積分	
		12週	面積分	
		13週	積分定理	
		14週	積分定理	
		15週	定期試験	
		16週	試験返却・解答	
<b>評価割合</b>				

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0